

高校生と大学生がロールプレイングゲーム（HUG）実施 災害弱者に配慮した避難所運営を考える 【11月17日 東広島キャンパス】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）は11月17日、高大連携事業の一環で、本学医療福祉学科生と広島県立黒瀬高等学校の生徒による避難所運営ゲーム（HUG）（※）を実施します。

1グループ6～7人、大学生と高校生が混合でグループを組み、全7グループが協議しながら避難所での物品の配置やさまざまなトラブルへの対応を決めていきます。黒瀬高等学校からは、福祉科の生徒を含めた33人が参加します。

本学は2017年11月、東広島市より災害時に障害者や高齢者など避難に困難を伴う対象者に対応した福祉避難所として指定を受けています。トイレの配置や導線を意識した通路の設置など、学生・生徒らは避難所運営を災害弱者の視点から考えます。



地域住民と学生によるHUGの様子（2018年6月）

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

※避難所運営ゲーム（HUG）

避難所の見取り図とさまざまな世帯状況や災害時のシチュエーションを記したカードを使用して、ロールプレイングするもの。カードは全部で249種類あり、付された番号順に読み上げていく。カードには「長女は重度の知的障害のある子ども」などの世帯情報や「毛布200枚が到着するので荷降ろし場所を決めるように」といった状況が具体的に記されており、避難所での物品の配置やさまざまなトラブルへの対応を決めていく。

【概要】

1. 開催日時：2018年11月17日（土）10：00～12：00
2. 場 所：広島国際大学東広島キャンパス 2号館5階多目的室
（東広島市黒瀬学園台555-36）
3. 参加者：広島県立黒瀬高等学校生徒33人、本学医療福祉学科生12人
4. 協力：東広島市社会福祉協議会

■取材の申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927